

日本とアフリカをつなぐ
国際交流プログラム がはじまります

アフリカユースプログラム



Japan-Africa Youth Program

Co-Creating Tomorrow Japan × Africa

本事業は、日本とアフリカの若者が交流を通じて、**相互理解**を深め、共に学び合い、成長すること、そして将来の**共創**に向け、連携を強化することを目的としています。

日本とアフリカをつなぐ **4** つのプログラム

短期招へいプログラム

アフリカの高校生・大学生・若手社会人を日本に約12日間招へいします。

短期派遣プログラム

日本の大学生・大学院生をアフリカ諸国に約12日間派遣します。

長期招へい・派遣プログラム

日本とアフリカの大学・研究機関・企業間での2週間～3か月間の交流プログラムを実施します。

Bridgeプログラム

日本でアフリカを、アフリカで日本をより多くの人に知ってもらうための広報活動・情報発信をします。



日本アフリカ相互理解促進交流プログラム「Japan-Africa Youth Program」は外務省が推進する日本とアフリカの青少年を対象とした国際交流事業です。アフリカ連合委員会（AUC）の委託を受けて、一般財団法人日本国際協力センター（JICE）が実施しています。

短期招へい・短期派遣プログラムについて

渡航前

プログラム期間中



プレプログラム

渡航前にプログラムの目的を理解し、日本/派遣国についての基礎知識を学びます。



対面プログラム

様々な講義、視察や文化体験、学校交流やホームステイなど多種多様なプログラムを通して、日本/派遣国についての理解を深めます。



ワークショップ・報告会

プログラム中の学びと気づきを整理し、参加者同士での共有します。報告会では今後の活動計画「チャレンジプラン」を発表します。



日本とアフリカをつなぐ「ユースアンバサダー」

プログラム終了後、参加者は、今後日本とアフリカをつなぐ「ユースアンバサダー」として次のような役割を果たすことが期待されます。



発信

プログラムでの学び・気づきをSNSなどで幅広く発信する



還元

学び・気づきを周りの人々や社会に還元する



継続

培ったネットワークや日本とアフリカの絆を継続する

ユースアンバサダーのミッション